

来週の「売り物記事」はこれ



2017年11月10日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

いつか帰りたい故郷 — 日本で生きるチベット難民たち

12日(日)



1965年、チベット動乱でインドに逃れた10～14歳のチベット難民5人が、埼玉県毛呂山町の旧毛呂病院（現埼玉医科大）の招きで来日しました。これを機に計21人が70年までに来日。しかし日本政府は難民と認定せず、その多くが日本国籍を取得して医師や看護師となり、地域医療を支えています。その1人で、武蔵台病院（埼玉県日高市）の院長を務める西藏ツワンさん（65）＝写真＝の歩みを中心に、望郷の念を抱いて生きるチベット難民たちの姿を描きます。



筆者はさいたま支局の三股智子記者です。

「青春＝反権力」も今は昔？

追跡・若者たちはなぜ「保守化」したか

夕刊特集ワイド 13日(月)



若者は「保守化」しているのでしょうか。そんな疑問が湧いてきます。というのも、今回の衆院選では10代、20代の「自民党支持」が、他の世代に比べて突出して高かったことが各種の調査で明らかになったからです。「俺たちのころは、青春時代といえば『反権力』だったものだが……」。親の世代からはそんな嘆きも聞こえてきそうです。いったい若い世代の「政治観」にどんな変化が起きているのか。探ってみました。

健康狂想曲 データヘルス

くらしナビA面 15日(水)

膨大なデータを集めて分析する「ビッグデータ」が健康を変えつつあります。20万人分を超える健康診断のデータを分析。その結果はランク付けされ、一目で分かるようになっています。個人、企業だけでなく自治体ですら、不健康の汚名を返上しようと、病気予防や意識改革に乗り出しています。健康とデータの関係がどうなっているのか、現状を報告します。



ハマりました 大相撲グッズ

くらしナビB面 15日(水)



大相撲の番付表や力士の手形、名前入りの着物など大相撲に関するグッズを半世紀近く近くにわたって集めている福岡市の男性（58）。地元だけでなく、東京の古本屋や骨董（こっとう）品店も回って、自分でも数え切れないほどの品を集めました。中学生の時初めて観戦し、伝統ある大相撲が持つ「日本独特の美」に目と心が奪われたのがきっかけ。その魅力を語ってもらいました。

歴史的経緯などから考える

そもそも「戸籍」は必要か

オピニオン面 [論点] 15日(水)

市区町村が扱う戸籍事務に「マイナンバー制度」を導入するための法制審議会（法相の諮問機関）の議論が始まっています。戸籍をめぐっては最近、「無戸籍」になっている人の存在や、蓮舫元民進党代表による戸籍公開などが話題になりました。そもそも、制度のあり方は現行のままでよいのでしょうか。歴史的な経緯や海外事例などから考えます。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

激減する「病理解剖」

科学面 16日(木)



死亡した患者に対し、遺族の了解を得て病理医が行う「病理解剖」の件数が減り続けています。死因の特定に加え、治療法の選択が適切だったかどうかを検証したり、薬の副作用の影響を調べたりして医療の進歩につなげる目的がありますが、このままでは若い医師の養成にも影響しかねません。激減の現状とその背景を、16日の科学面で報告します。

囲碁第22回LG杯 井山7冠が準々決勝で対局 13日

LG杯は、囲碁世界一を競う国際棋戦。井山裕太7冠(28)＝写真＝が準々決勝に勝ち残り、13日、東京・市ヶ谷の日本棋院で中国の楊鼎新(ヨウ・テイシン)六段と対局する。勝てば15日に準決勝だ。日本での対局は10年ぶり2回目。近年、中韓に苦戦する日本勢。7冠復帰後初の国際棋戦となる井山、勢いに乗って駆け上がれるか。



いざ初陣！稲葉ジャパン

アジアプロ野球チャンピオンシップ

スポーツ面 17日(金)から



野球の国際大会「ENEOSアジアプロ野球チャンピオンシップ2017」が16日から19日まで、東京ドームで開催されます。出場資格は24歳以下、または入団3年目以内の若手とオーバーエージ枠3人で、日本、韓国、台湾の代表チームが出場。総当たり戦を行い、上位2チームが19日の決勝に進みます。注目は今年7月に日本代表監督に就任した稲葉篤紀監督の初采配。2020年東京五輪の金メダル獲得を目指す「稲葉ジャパン」が初陣を飾れるか、注目です。